



ついで。日本軍が敗北する
ことになり得ないという
「建前」が二人の間では暗黙
の了解のうちに維持されてい

「裂け目」の歴史再来 今も続く沖縄の「占領」

金平 茂紀

【4】

主権・国家を問う

「木の上の軍隊」という劇
を見た。作家の井上ひさしが
生前、最後まで構想を練り続
けていた沖縄にまつわるスト
ーリーを、氏の死後に遠来電
太が劇作品に書きおろしたも
のだ。

「木の上の軍隊」

物語は、沖縄戦の末期、激
しい戦闘からの敗走の果てに
ガシマルの大きな木の上に
まじ差って退却し、何ともの
木の上で2年間におたつて暮
らしてしまつたサマツの上官と
沖縄から志願した新兵の物
語だ。戦争はいつに終わつ
ているのに、木の上の上官と
新兵はそれを「知らず」、反
撃の機会をつかかっている
とになっている。「知らず」
とわざわざカッコで括つたの
には理由があるのだが、劇の
中身からはその真意は読みた
いので、ここまでに止めてお
く。

上官と新兵。日本軍の厳格

な規律は二人のあいだで保た
れているかに見える。目の前
の敵はアメリカ軍の基地はそ
のあいだにどんどん大きくな

る。時間の流れにあらず、
木の上の奇妙な「共同生活」
が成立していくなかで、二人
の会話から痛切な感じにサマ
ツと沖縄の「裂け目」が浮か
び上がってくる。

新兵：上官の本分は何で
すか。

上官：ちよこさ達し。

新兵：この島を救うため
にやつてきた。

上官：……。

新兵：自分と上官は、あ
いつを殺す。遇いたずら
の目的で、一緒にいるんです。
わかりますか。

上官：達し。この島を守
るんじゃない。

新兵：？

上官：この国を守るんだ。
お前はそこをくんな全然わか
つていない。島、島つてなん
だ。

新兵：なんですか。

上官：俺たちが背負つて
いるのはこの小さな島が全
てじゃないぞ。お前はそれい
を全くわかっていない。それ
は、お前が、本日の意味での
国民じゃないからだ。

新兵：……

（「木の上の軍隊」より）
サマツと沖縄の「裂け目」
が二人の間でいかに意識
される瞬間だ。

「占面講和」選ぶ

4月28日はいつの日



こまつ座&ホリプロ公演「木の上の軍隊」より＝東京
・渋谷のシアターコクーン（撮影・阿部高之）

かねひさ・しげの 1953年
北海道生まれ。TBS「報道特集」
キャスター。本紙連載の「ニエーヨ
ーク徒然草」「アジアン通信」は今
月刊行予定。



か。「木の上の軍隊」をみな
がら僕は、東京の永田町、霞
が関を中心に進められた「主
権回復の日」祝賀式典開催へ
の動きへ、沖縄戦以降、長い
歳月を経ながらこの日を「屈
辱の日」として語り継がれて
きた動きへ、そのあまりに
も深い「怒り目」を、まさに
二重亭しにしていただいた
た。おんなじじゃないか。

歴史をふりかえろう。日本
は戦争に敗れた。8月15日の
天皇の玉音放送で国民にその
事実が告知された。だがそれ
に先立ち沖縄ではアメリカ軍
とのあつた激しい地上戦が
展開された。おびただしい数
の命が奪われた。玉音放送の
54日も前の8月23日に沖縄は
すでに壊滅的な敗北の地とな
っていた。だから沖縄は日本
本土に先立って「占領」され
ていた。日本本土もポツダム
宣言の受諾によって連合国軍
によって「占領」された。日
本は主権を失った。以降、G
HQが事実的に日本を支配し
ていた。

アメリカ軍は占領中に日本
各地に基地をつくった。特に
沖縄には多くの基地をつくっ
た。肉づつに普天間飛行
場はアメリカ軍が最初に自分
たちで日本領土内につくっ
た飛行場だ。占領され主権が
ないのだから文句は言えな
い。1951年、日本は国内
にあった反対意見を押し切っ
てサンフランシスコ講和条約
に署名した。すでに冷戦が始
まっていた時期だ。日本はア
メリカを中心とする西側諸国
との「占領講和」の道を選ん
だ。いや、選定するを得なか

ったのかもしれない。
そして52年4月28日にこの
条約が発効した。その日をも
って日本は「占領」から解放
され独立国として認められ
た。つまり「主権」を回復し
たという解釈だ。政府の祝賀
の根拠はこれに基づく。だが
沖縄は条約調印時に日本から
切り離され、アメリカの統治
下に入っただ。日本本土防
衛のために激戦な地上戦を経
験した沖縄は「主権」を引き
換えてアメリカに差し出され
た。沖縄の人々が「屈辱の日」
と語り継ぐ所以である。72年
8月15日、沖縄は本土に復帰
した。つまり「主権」の存す
る日本という国の奥に編入さ
れたのだ。であるならば、「占
領」から解放されなければな
らない。

これが独立国か

だが、沖縄には今も大な
アメリカ軍基地があり続けて
いる。「沖縄のなかに基地が

あるのではない。基地の中に
沖縄があるのだ」(東松昭明)。
そのような理不尽な状況のな
かで、普天間基地は県内に移
設されると政府がアメリカに
約束し、オスプレイが普天間
基地に配備された。沖縄県民
の明確な反対の声を全く無視
する形で。これが「主権」を
もった独立国のやることか。
いや、ひょっとして僕の方が
間違っていたのか。日本はひ
ょっとして「主権」なりを本
当の意味で回復していないの
ではないか。

中井真弘多知事は「主権回
復の日」祝賀式典に欠席した。
代わりに県長倉田副知事が参
列した。かつて「沖縄ヤン
アチー」の旗を立て沖縄の目
立を説いていた人物が、「祝
賀」と「屈辱」の怒り目をま
たいてトーキョーに來た意味
は重い。天皇からお言葉はな
かった。お言葉が寄せられな
かった意味もおそろく非常に
重い。